

○絵画製作

雨が多いこの月は絵をかいたり、物をつくつたりする機会も多いことと思うので、時だ。

この期に創造の意欲と喜を覚えさせるよい

・子どもの感動を大胆に表現させたいこと。

・子どもが描けないと言つたとき、どうすべきだろうか。

・子どもの自信を失わせる理由は何だろうか。

(作者は三つの理由をあげている)

・布の利用、包紙、空箱、その他材料の利用、

・子どもたちが材料や用具を自由に出せる棚など、写真を参考にして造つてみてはどうだろう。

次に七月号をみると、筆頭に波多野完治氏の「望ましい教師の姿」が眼にうつる。氏は視聴覚のことで書かれているが、幼稚園ではまだまだこの面が欠けている。今後

の教師は視聴覚的方法を身につけた人でありたいと言わわれている。私は望ましき教師やいなや！ 一読をすすめたい。

平井信義氏の「幼児のことばについて」はことばの発達や、発達に及ぼす条件、言語障害などわかり易くかかれていて、保育者としては是非よんでおきたい項である。

各保育内容の中では、自然の中の、「試み

たい水あそび」が具体的に面白くかかれて

いる。水ぐるま、さいほん、水でっぽうな

ど。ねれるからと禁止ばかりしないで七月

のこの月こそ思いきってさせてみてはどう

だろうか。

三才児の保育については、土屋真砂子氏

の「理想の環境」、秋田美子氏の「七月の保

育技術」鈴木とく氏の「着衣の習慣」植松

治子氏の「母親指導」がのつていて、三才

児の指導者は是非よんでほしいところであ

る。

\* \* \*

幼児の教育 第五十六卷 第十号

◎ 定価 五十円

昭和三十二年九月二十五日印刷  
昭和三十二年十月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼

発行者 津 守 真

東京都文京区大塚町三五  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
発行所 東京都板橋区志村町五番地  
日本幼稚園協会

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五  
発売所 株式会社 フレーベル館  
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
フレーベル館にお願い致します。